



# 浦和大里小学校だより

3月号 令和7年2月28日発行

教育目標  
夢と希望をもち、  
人間性豊かで  
心身ともに  
たくましい子の育成



## 芽吹きの中

校長 中野 緑

1年生の植木鉢から、チューリップの芽が顔を出しました。「何色が咲くかな？」と声をかけると「紫だと思う。」。やりとりを聞いていた2年生が「ぼくたちのときはね、紫が一番に咲いたんだよ。最初は紫ばかり咲くんだよ。」と教えてくれました。「紫のチューリップが早咲き」という大発見。咲くのを楽しみに水をやり続けたからこそ感じた感動を覚えていたのでしょう。早いもので、学年を締めくくる最後の月となりました。各学級においては、「一年間の成長を具体的に子ども一人ひとりに語る月にしよう」と伝えたところです。

さて、2学期に実施しました学校評価の結果を、本日学校だより特集号としてお配りいたしました。学校評価は、教育の質の向上と改善を図り、子どもたちがよりよい学校生活を送るためのものです。今年も、たくさんのご意見やアイデア、励ましの声をいただくことができました。意図があって行っているため現状で進むもの、すぐ改善に着手できるもの、情報を集め長期的に検討するものに分け、できることは早速いくつかの改善を図りました。保護者や地域の皆様が学校に関心を寄せ、多くのお声を届けてくださることは大変励みになっています。ご協力、ありがとうございました。

学校に関わってくださる様々な方々と話す機会も多いこの時期、一年間のまとめをしながら、「浦和大里小学校の特色」について語り合う場面があります。そのようなとき私が心に浮かべるのは「子どもの挑戦を支える校風」というキーワードです。

自分を表現することが大好きな子がいます。こつこつとカタチにすることが得意な子がいます。「自信がないけどやってみようかな」と思える、あたたかな人間関係があります。自分たちのやりたいことの実現のために、例えば地域の大人たちに思いを伝える勇気がある子どもたちがいます。そしてそれを応援してくださる保護者や地域の皆様がいます。

このような校風に支えられて、教職員は「やってみなよ。」と子どもの活動をそっと後押ししてきました。そして今年度は、工事中の白い壁に大里小のすてきなところを貼った「ニコニコロード」や、「縦割り班活動」等が新たに実施され、学年を超えて楽しむ姿が見られました。来年度も引き続き、子どもの努力を認め、励ますことにより、「自分が好き」「やればできる」という思いの芽を育むとともに、実現に向け粘り強く取り組む姿を後押ししてまいります。

修了式まであと18日、卒業生はあと16日の登校で卒業式となり、子どもたちにとっての大きな節目を迎えます。改めて振り返ると、ほら、みてください。寒さに耐えて芽を出すチューリップのように、これまでの地道ながんばりがあちらこちらで芽吹いています。

\*学校ホームページ「学校生活」では、浦和大里小の日々の様子を発信しています。どうぞご覧ください。